

# 石橋湛山関係文書(その2)目録

国立国会図書館憲政資料室

石橋湛山関係文書(その2)

番号	タイトル	作成者	年	月	日	内容・摘録	記述法	用紙	数量	付属資料	備考
1 - 1	秋守常太郎書簡 石橋湛山宛	秋守常太郎	昭和5	9	9	掲載記事への感想。 「時局救済策」(秋守常太郎 昭和5年9月3日 謄写2枚) 同封	タイプ	秋守本支店 用箋	3枚	封筒	
2 - 1	阿部嘉蔵書簡 石橋湛山宛	阿部嘉蔵	昭和13	1	12	歌二首、俳句一句	墨書		1通	封筒	
3 - 1	天羽英二書簡 石橋湛山宛	天羽英二	昭和20カ	10	5	終戦、米国占領等雑感	墨書	便箋	2枚	封筒	
4 - 1	井倉和雄書簡 石橋湛山宛	井倉和雄	昭和12	11	22	拝眉御高説拝聴仕度	墨書		1通	封筒	年は消印より
4 - 2	井倉和雄書簡 石橋湛山宛	井倉和雄	昭和13	5	18	写真御送り下され厚情	墨書		1通	封筒	年は消印より
4 - 3	井倉和雄書簡 石橋湛山宛	井倉和雄	昭和13	8	30	蒲郡秋冷の候ニ御案内申上度	墨書	便箋	2枚	封筒	年は消印より
4 - 4	井倉和雄書簡 石橋湛山宛	井倉和雄	昭和16	1	29	羊羹拝送	墨書		1通	封筒(名古屋 銀行)	年は消印より
4 - 5	井倉和雄書簡 石橋湛山宛	井倉和雄	昭和20	6	12	御見舞拝謝	墨書	はがき	1通	(付)岡村嘉 子書簡(はが き)井倉みち 子宛 年月日 不明 ペン	年は消印より
4 - 6	井倉和雄書簡 石橋湛山宛	井倉和雄		2	7	物価問題ハ真ニ看取し得るもの	墨書		1通	封筒	
5 - 1	池尾芳蔵書簡 石橋湛山宛	池尾芳蔵	昭和	11	6	別紙送付	墨書	便箋	1枚	封筒	宛先(東洋経済新報社- 昭和6年6月日本橋本石 町へ移転)より昭和6年 以降
6 - 1	一瀬彙吉書簡 石橋湛山宛	一瀬彙吉	昭和9	10	29	甲州名産葡萄御恵投深謝	墨書		1通	封筒	年は消印より
6 - 2	一瀬彙吉書簡 石橋湛山宛	一瀬彙吉	昭和12カ	11	12	名古屋支局開設祝福	墨書	便箋	3枚	封筒	昭和12年7月東洋経済新 報社名古屋支社設置

石橋湛山関係文書(その2)

番号	タイトル	作成者	年	月	日	内容・摘録	記述法	用紙	数量	付属資料	備考
7 - 1	井上辰九郎書簡 山本仁作宛	井上辰九郎	大正15	12	1	石橋湛山氏紹介	墨書		1通	封筒(若尾銀行東京支店)	
8 - 1	上野山永之助書簡 石橋湛山宛	上野山永之助	昭和4	7	20	拙稿掲載、貴著贈与御礼	墨書	便箋(上野山眼病院)	1枚	封筒	
9 - 1	瓜生卓爾書簡 石橋湛山宛	瓜生卓爾	昭和20	7	12	社論「農業は農民に返せ」(6月30日「東洋経済新報」掲載)への感想	墨書		1通	封筒	
10 - 1	小川郷太郎書簡 石橋湛山宛	小川郷太郎	昭和11カ	8	23	統制委員会臨時委員依頼	墨書		1通	封筒	年は消印より
10 - 2	小川郷太郎書簡 石橋湛山宛	小川郷太郎	昭和11カ	8	28	統制委員会臨時委員御快諾奉謝、履歴書一通御送被下度	ペン	小川用箋	1枚	封筒	年は消印より
11 - 1	香川小次郎書簡 石橋湛山宛	香川小次郎	昭和8	3	3	御着駅の日時御一報待上申候	墨書		1通	封筒	年は消印より
12 - 1	川谷三治書簡 石橋湛山宛	川谷三治		11	2	車中介抱御礼	墨書		1通	封筒	
13 - 1	久留島武彦書簡 石橋湛山宛	久留島武彦	昭和16	1	10	新年挨拶	墨書	便箋	2枚	封筒(日刊婦人毎日新聞社)	年は消印より
14 - 1	畔田明書簡 石橋湛山宛	畔田明	昭和11	8	28	東洋経済8月29日号掲載「不謹慎なる外交論を排す」感想	墨書	便箋	3枚	封筒	年は消印より
15 - 1	昆田文二郎書簡 石橋湛山宛	昆田文二郎	大正7カ	7	7	礼状	墨書		1通	封筒	年は消印より
16 - 1	志立鉄次郎書簡 石橋湛山宛	志立鉄次郎	昭和6	2	24	経済考究会会合	ペン	便箋	1枚	封筒	年は消印より
16 - 2	志立鉄次郎書簡 石橋湛山宛	志立鉄次郎	昭和17	4	10	自由通商協会名称変更の件	ペン	便箋	2枚	封筒	年は消印より

石橋湛山関係文書(その2)

番号	タイトル	作成者	年	月	日	内容・摘録	記述法	用紙	数量	付属資料	備考
17 - 1	志波徳兵衛カ書簡 石橋湛山宛	志波徳兵衛カ	昭和13	7	9	当地大洪水に際し御見舞多謝	墨書		1通	封筒	年は消印より
18 - 1	下村海南書簡 石橋湛山宛	下村海南	昭和22カ	4	3	礼状	墨書	絵はがき (海南荘白雲楼上婦人室)	1通		年は切手50銭(昭和22年4月～12月)より
19 - 1	鈴木達治書簡 石橋湛山宛	鈴木達治	昭和23	1	8	弁駁書拝読、自由思想協会設立共鳴、吉原謙次郎紹介	ペン	原稿用紙	8枚	封筒	年は消印より 鈴木は横浜高等工業校長
20 - 1	武井大助書簡 石橋湛山宛	武井大助	昭和33	1	6	明治42年一橋騒動の記事に付御参考の為め申上候	ペン	便箋	2枚	封筒	
21 - 1	田中都吉書簡 石橋湛山宛	田中都吉	昭和16	1	13	会合準備の件	墨書		1通	封筒(中外商業新報社)	年は消印より
22 - 1	津田信吾書簡 石橋湛山宛	津田信吾	昭和12	1	19	御高見御示被下難有	ペン	便箋	1枚		
23 - 1	田昌書簡 石橋湛山宛	田昌	昭和12	8	3	新報社大阪支社へ知人採用依頼	墨書		1通	封筒	年は消印より
24 - 1	内藤円治書簡 石橋湛山宛	内藤円治	昭和14	6	28	著書恵贈礼状	墨書		1通	封筒(日東紡)	年は消印より
25 - 1	内藤熊喜書簡 石橋湛山宛	内藤熊喜	昭和13	8	8	留置に対する御見舞への御礼	墨書		1通	封筒	年は消印より
26 - 1	新倉利弘書簡 石橋湛山宛	新倉利弘	昭和	7	21	御見舞	墨書		1通	封筒(商工省)	昭和12～16年頃カ4銭切手より
27 - 1	西原亀三書簡 石橋湛山宛	西原亀三	昭和4	12	27	彼の会計如何相成居候	墨書		1通	封筒	年は消印より
27 - 2	西原亀三書簡 村田俊彦(経済倶楽部気付)宛	西原亀三	昭和7	4	13	経済倶楽部誘引断り状	墨書		1通	封筒	年は消印より
28 - 1	野間五造書簡 石橋湛山宛	野間五造	昭和14	6	25	貴著贈与御礼	墨書		1通	封筒	年は消印より

石橋湛山関係文書(その2)

番号	タイトル	作成者	年	月	日	内容・摘録	記述法	用紙	数量	付属資料	備考
29 - 1	馬場鉄一書簡 石橋湛山宛	馬場鉄一	昭和11	6	25	例の冊子出版の件	墨書		1通	封筒	年月は消印より
30 - 1	早川徳次書簡 石橋湛山宛	早川徳次	昭和9	7	10	書簡への礼状、[東京地下鉄延伸]	墨書		1通	封筒	年は消印より
31 - 1	万代順四郎書簡 石橋湛山宛	万代順四郎	昭和23	5	8	近況報告	墨書	便箋	2枚	封筒	年は消印より
32 - 1	日笠有二書簡 石橋湛山宛	日笠有二	昭和16カ	12	30	礼状	墨書		1通	封筒	年は消印より
33 - 1	福田徳三書簡 石橋湛山宛	福田徳三	昭和4カ	7	22	「金輪解禁の影響と対策」への批評	ペン	便箋	1枚	封筒	年は消印より
34 - 1	深井英五書簡 石橋湛山宛	深井英五	昭和15	6	30	拙著「通貨政策」増補版一部呈上	墨書		1通	封筒	
34 - 2	深井英五書簡 石橋湛山宛	深井英五	昭和15	8	31	加田哲二著「社会史」贈与深謝	墨書	便箋	1枚	封筒 (付) 姉崎正治書簡 清水龍山宛 年不明11月6日 墨書 (高山樗牛「況後録」複製の件)	
35 - 1	布施辰治書簡 石橋湛山宛	布施辰治		9	3	原稿掲載願	墨書		1通	封筒なし	
36 - 1	松崎伊三郎書簡 石橋湛山宛	松崎伊三郎	昭和21	5	21	大臣就任祝状	墨書	便箋	2枚	封筒	
37 - 1	松永安左エ門書簡 石橋湛山宛	松永安左エ門	昭和21カ	3	27	重光・高崎・一万田三氏会談、東南亜ノ日米援助	墨書		1通	封筒	
37 - 2	松永安左エ門書簡 石橋湛山宛	松永安左エ門	昭和	11	26	記念会館開館、佐藤代議士知事公選の件	墨書		1通	封筒 (托山本氏)	時期は戦後

石橋湛山関係文書(その2)

番号	タイトル	作成者	年	月	日	内容・摘録	記述法	用紙	数量	付属資料	備考
38 - 1	武藤嘉門書簡 石橋湛山宛	武藤嘉門	昭和20	7	31	戦況、食糧対策	墨書	(用紙裏)合併(俗語)条件 昭和16年11月6日 岐阜日日新聞社代表武藤嘉門 タイプ	2枚	封筒	年は宛先(秋田県横手町)より
39 - 1	望月日謙書簡 石橋湛山宛	望月日謙	昭和8	2	1	御母堂逝去お悔み	墨書		1通	封筒	年は「湛山自伝」(母きん昭和8年死去)より
39 - 2	望月日謙書簡 石橋湛山宛	(望月)日謙	昭和8	2	25	身延山参拝の件	墨書		1通	封筒(山梨県総本山身延久遠寺)	
39 - 3	望月日謙書簡 石橋湛山宛	(望月)日謙	昭和8	2	27	銅像建設の件	墨書		1通	封筒(山梨県総本山身延久遠寺)	
39 - 4	望月日謙書簡 石橋湛山宛	(望月)日謙	昭和9	12	10	尊書寄贈御礼、近況報告、姉崎博士に孫誕生	墨書	便箋	9枚	封筒(山梨県総本山身延久遠寺)	
39 - 5	望月日謙書簡 石橋湛山宛	(望月)日謙	昭和15	2	18	湛一慰問品送付	墨書		1通	封筒(山梨県身延町身延山久遠寺)	
39 - 6	望月日謙書簡 石橋湛山・梅子宛	(望月)日謙	昭和15	10	23	歌子婚姻の件	墨書		1通	封筒	年は消印より
40 - 1	矢田績書簡 石橋湛山宛	矢田績	昭和12	8	30	陸奥伯訳書原本の件	墨書		1通	封筒	
41 - 1	山崎丈夫書簡 石橋湛山宛	山崎丈夫	昭和20	7	31	近況報告	墨書		1通	封筒(岐阜市十六銀行本店)	年は消印より
42 - 1	依田湛淳書簡 石橋湛山宛	依田湛淳	昭和17	4	18	法主容態報告	ペン	便箋	2枚	封筒(熱海市如々庵)	年は消印より
43 - 1	渡辺日雄書簡 石橋湛山宛	渡辺日雄	昭和21	10	8	西下の折御都合伺	墨書	罫紙(大本山本圀寺)	1枚	封筒(京都市大本山本圀寺)	年は消印より
43 - 2	渡辺日雄書簡 石橋湛山宛	渡辺日雄	昭和26	11	28	回想録恵送御礼、自己経歴、近況報告	墨書	罫紙	2枚	封筒	年は消印より

石橋湛山関係文書(その2)

番号	タイトル	作成者	年	月	日	内容・摘録	記述法	用紙	数量	付属資料	備考
44 - 1	差出人不明書簡 石橋湛山宛	不明	昭和8			礼状	ペン	絵はがき (身延山久遠寺日蓮上人御廟所)	1通		年は消印、宛先(経済倶楽部山中湖山荘-昭和8年7月設立)より
45 - 1	差出人不明書簡 石橋湛山宛	不明	昭和16	7	18	ヒトラーは日本民族に就て語る (「我が闘争」抜粋和独文)	活字		2枚	封筒(ビルマラングーン消印)	